

平成23年7月17日
今週のベストショット



H23. 7. 17 奈多グラウンド ブルーマーリンズ 対 ソルトベ이스ターズ戦
五回裏、逆転の口火を切るソルト中村（健）選手のタイムリー二塁打。
1イニング16得点という怒濤の攻撃がBマーリンズを襲う。

奈多グラウンド

ブルーマーリンズ	1 0 0 4 1	6	負投手：林	HR：なし
ソルトベ이스ターズ	0 1 0 0 16	17	勝投手：中村（祐）	HR：中村（耕）

共にまだ勝ち星の無い両チームの戦いとなった。初回、ブルーマーリンズは尾田孝宏選手の右前打で先制すると、対するソルトベ이스ターズは二回、石井和人選手の中前打で追いついた。その後中盤まではブルー林、ソルト中村（耕）両投手が要所を締める展開となった。試合が動いたのは四回、ブルーマーリンズは浜崎健次選手の右翼線適時二塁打など5安打で4点を奪うと、さらに五回にも代わったソルト中村（祐）投手から浜崎選手の2打席連続適時打で6点目を加えて勝負を決めたかに思われた。ところが五回裏、ソルトベ이스ターズは相手エラーに酒井哲朗選手・中村耕一郎選手など長短打を絡めて一気に逆転に成功。その後も攻撃の手を緩めず、この回17人目の打者・中村耕一郎選手が右越え本塁打を放ったところで10点差となり、逆転コールドゲームで試合を制した。この回ソルトベ이스ターズは四球を挟んで10者連続安打を含む12安打16点という記事に書ききれない猛攻だった。（記事 雁ノ巣ライナーズ 三宅基裕）



先制のホームを踏むBマーリンズ工藤翔平選手。
順調に得点を重ねたBマーリンズだったが・・・。



Bマーリンズ塚太一選手は、悪送球の間に一気にホームを陥れた。



ソルト田中裕次郎選手の右中間への二塁打で、猛攻は続く。

	No	1	2	3	4	5	6	5
6	中村(健)	①						
4	坂本							
1	田中(裕)	②						
2	田中(真)	③						
9	田中(真)	④						
1	田中(真)	⑤						
3	坂本							
7	田中(真)	⑥						
8	田中(真)	⑦						
9								

見事に真っ赤なソルト五回裏の攻撃。

青松園A

三苦ホーネッツ 3 1 4 4 4 1 6 勝投手：井手 HR：稲葉、矢野

レッドサンデーズ 0 1 0 1 0 5 負投手：土師 HR：なし

先攻のホーネッツは、初回山崎健太郎選手の内野安打の後、盗塁・適時打で効率よく3点を先制する。火がついたホーネッツ打線は更に三回の矢野義幸選手、四回に稲葉紘一選手に連続して3ランが飛び出すなど19安打2本塁打3盗塁の毎回16得点でレッドサンデーズを圧倒した。レッドも4本の内野安打を軸に2点を返すが失点が大き過ぎた。前週のジャガーズ戦より9イニング連続得点のホーネッツは、チーム打率が4割を大きく超える脅威の打線となっている。

(記事：塩浜ジャガーズ 高嶺信彦)



ホームヘスライディングするホーネッツ塚厳生選手。



大量16得点に沸くホーネッツベンチ。

青松園B

三苦フレンズ 00010 1 負投手：井上 HR：なし
新町パイレーツ 4307× 14 勝投手：八坂 HR：大濱、白岩

一回裏パイレーツは先頭の桐島涼選手が四球で出塁すると2番升井慎一選手のセーフティバント、7番石橋登選手、8番川田弘美選手の連続適時打で4点を先制。さらに二回裏には4番大濱聡選手の3ランホームランで3点を追加。フレンズは4番亀井宏和選手の適時打で1点を返すも、四回裏には打者12人の猛攻で駄目押しの7点を取り、パイレーツが大量14点を挙げて快勝した。
(記事：奈多フェニックス 今林文彦)



鮮やかなセーフティバントを決めるパイレーツ升井慎一選手。



フレンズ打線を4安打1失点に抑えるパイレーツ八坂亮一投手。

雁レク4

新町ウインズ 5130200 11 勝投手：藤田 HR：泉、藤田
奈多クラブ 0011001 3 負投手：今林瑠 HR：安部

ウインズは序盤、打撃陣が好調で三回までに9点を奪う。一方の奈多クラブは、ウインズ藤田征司投手に抑え込まれる。しかし三回裏、8番安部慶彦選手のチーム初安打となる三塁打をきっかけに1点を返し、四回にも今林健選手の適時二塁打にて1点を追加する。最終回にも、安部選手が右中間へ本塁打を放つが、序盤の失点が大きく試合終了。終始ウインズさんはチーム内の雰囲気よかったですね。奈多クラブさん、ちょっと調子が悪いようですね。早急な復活を個人的に期待しています。(記事：三友クラブ 山本健一)



久しぶりの出場で、打っては本塁打と三塁打、投げては完投勝利のウインズ藤田征司選手。



奈多クラブ5番今林健選手は、第一打席で三振に打ち取られるも、次の打席で二塁打を放ち一矢を報いた。

第11週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

今週は心配された台風の影響もなく、4試合が行われました。

その4試合全てで勝利チームは二桁得点でした。

中でも、初勝利を目指して争った奈多グラウンドのBマーリンズ対Sベ이스ターズは、5点差あって、ほぼBマーリンズの勝利と思われた五回裏にSベ이스ターズが一挙16点を挙げるという逆転大勝利で初白星をGETしました。スコアブックを速報に載せましたが、凄いですね。3つのアウトを取る難しさと、選手個々の可能性を見せてくれました。青松園Aのホーネッツ対レッドは、ホーネッツ毎回の得点で圧勝でした。1番の山崎健太郎選手の5打数5安打（内野安打3本）をはじめ、123番で計12安打2HRです。打つわ走るわで手がつけられません。レッドは2人の新加入選手がどこまでやってくれるでしょうか？青松園Bのフレンズ対パイレーツは、ランナーを置いてパイレーツの3番白岩、4番大濱選手と軸にHRが飛び出しました。雁レク4球場のウインズ対奈多クラブは試合開始から攻め立てたウインズが早めに試合を決めて、楽な展開でした。投打に藤田選手のフル出場が望まれますね。大きな体のウインズ野中選手も3打数3安打と結果を残しています。この二人が8・9番とは何故？？奈多クラブ8番安部慶彦選手は藤田投手からHRと三塁打を放ち、氣を吐いていました。

なでしこJAPANが女子W杯で優勝して、明るいニュースが日本列島を覆っています。その選手の個性を把握して、最大限に力を発揮させた佐々木監督が話題ですね。我がWSLも監督さんの手腕ひとつでチーム状態ガラッと変わります。低迷しているチームは何らかのテコ入れが必要かもしれませんよ！今後、後半戦に向けてどのような手腕を振るうのかも注目していきたいと思います。